

H23 年度木育キャラバン推進事業報告書  
「木育キャラバン in ユッカヌヒー」



平成 23 年 9 月 30 日

木育キャラバン in ユッカヌヒー実行委員会

## 目次

I.	イベント概要	P1
II.	会場配置図	P3
III.	各コーナーに関して	P4-16
IV.	時系列来場者数	p17
V.	来場者アンケート集計	p18-31
VI.	出品者アンケート	p32-34
VII.	販売集計	p35
VIII.	ワークショップ集計	p36
IX.	関係団体の役割と担当者	p37
X.	関係先チラシ・ポスター配布数	P40
XI.	進行概要	P41
XII.	役割分担	P42
XIII.	コーナー毎の内容と対応人数	p43-44
XIV.	スタッフ配置表	p44-46
XV.	広報	p47
XVI.	イベントを振り返って	p48

【添付資料①】 沖縄木育円卓会議2011

【添付資料②】 木育円卓会議参加者名簿

本年7月30日(土)31日(日)沖縄県における木育推進イベントとして「木育キャラバン in ユッカヌヒー」を開催しました。  
このイベントでは、以下の取り組みを行いましたので、ご報告いたします。

## I. イベント概要

### (1) 趣旨

「木のおもちゃ」や「あそび」を通じて木育を推進し、沖縄県産木製品の良さを県民へ普及啓発することを目的に、「木育キャラバン IN ユッカヌヒー」を沖縄で開催いたしました。

本事業では、300 点を超える木のおもちゃで、子供だけでなく大人も楽しめる木のおもちゃによる遊びを体験できる「遊びの広場」、県内の木工作家や子育て支援団体等による木っ端や木の幹などを使った手作り体験のできる「ワークショップ」、木に関すること、木育に関すること等幅広い情報を発信するための「パネル展示」等を展開し、沖縄の伝統「ユッカヌヒー」の発展版として子供達の健やかな成長をねがい、より多くの方々が学び・楽しめる「木育キャラバン IN ユッカヌヒー」として開催するものです。

(2) 日時            2011 年 7 月 30 日(土) 10 時～17 時   、31 日(日) 10 時～16 時

(3) 場所            沖縄大学 本館 1 階

(4) 入場料           無料

(5) 来場目標        1000 名

### (6) 主共催・関係団体

主催：沖縄グッド・トイ委員会

共催：沖縄県 沖縄大学

協力：ウッディ・ビエンナーレ in 沖縄実行委員会、沖縄県森林組合連合会、沖縄県児童館連絡協議会、  
沖縄県学童保育支援センター、沖縄県芸術大学デザイン専攻、沖縄なは子ども劇場、太陽のえくぼ、  
沖縄子育て情報ういず、沖縄福祉文化を考える会、沖縄子どもの文化研究会、沖縄育児サポートすきっぷ、  
NPO 法人沖縄児童文化福祉協会

特別協力：認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会、国頭村森林組合

後援：那覇市

協賛：東京おもちゃ美術館

運営：木育キャラバン in ユッカヌヒー実行委員会(沖縄グッド・トイ委員会内)

## (7) 主な内容

### ① 遊びの広場

- a. 東京おもちゃ美術館からやってくる木育キャラバンセットと琉球松の香り漂う5000ピースの積み木による「木のおもちゃと遊び広場1」
- b. 木育キャラバンと遊びのライブステージによる「木のおもちゃと遊び広場2」

### ② ワークショップコーナー

- a. 木工作家による木に親しむワークショップ「木育手づくりの広場」
- b. 自然物玩具、郷土玩具、手づくりおもちゃなどを作って楽しむ「ワークショップの広場」

### ③ パネル展示

### ④ 第1回沖縄木育円卓会議の開催

### ⑤ 県内木工作家による子供向け木工製品の展示販売「沖縄の木の広場」

### ⑥ その他の取り組み

## II. 会場配置図



### 【学内案内図】

- ① イベント会場
- ② ミニシアター
- ③ 木育会議、交流会場
- ④ 搬入口
- ⑤ スタッフ関係者駐車場
- ⑥ 一時駐車場
- ⑦ 受付
- ⑧ 総合案内所

- ⑨ イベント本部 2F 大会議室
- ⑩ 関係者休憩室 2F 202 教室
- ⑪ 関係者休憩室 2F 205 教室



### 【イベント会場図】

### Ⅲ. 各コーナーに関して

#### ① 遊びの広場

##### a.「木のおもちゃと遊び広場1」

イベントのメイン会場となるこの広場は、東京おもちゃ美術館の木育キャラバンセットとしてやってきた 300 点に及ぶ木製玩具と、国頭村森林組合からやってきた琉球松の香り漂う積み木 5000 ピースからなり、①木育おもちゃのエリア②積み木とクーゲルバーンのエリア③動くおもちゃのエリア④はじめてであうおもちゃ・ごっこ遊びのエリア⑤琉球松の積み木のエリアの5エリアを設けました。2 日間を通して一番人気のコーナーで多くの人々を夢中にさせました。東京おもちゃ美術館さながらに赤と黄色でコーディネートされた広場で、大人も子供も靴を脱いでリラックスした雰囲気を楽しそうに遊ぶ姿が見受けられました。





中でも一番の人気は積み木類で、琉球松 5000 ピースの積み木のほか、切り株の模様が見える積み木、六角形の積み木、竹で出来た弓型の積み木など、沢山の人が積み木遊びを楽しんでいました。単に積み木といっても、色々な形状のもの、色々な木材によるもの、デザインのバリエーションなど種類が豊富で、それぞれに違った楽しみ方と発見があったようです。

沢山のグッド・トイを前に、大人も子供も創造力を書き立てられ、日ごろの遊びとは違った遊びの世界に没頭していた様子が伺えます。今も昔も変わらない、子供達の集中力や創造力を垣間見ることができ、このような健全な遊びの場こそ、子供の成長に必要だと、多くの方が改めて感じたのではないかと思います。



最近では核家族化、少子化、デジタルゲームの普及等でおままごと遊び(見立て遊び)が上手にできない子供が増えていると言われていますが、木製の素敵なおままごとセットを前に、自然に手が伸び、昔ながらの見立て遊びに集中する微笑ましい姿が見られました。

また、質の高い国産の木のおもちゃを手にした沖縄の木工職人から、驚きの声も聞かれました。

予想を上回る数の来場者と、全体的なスタッフ不足により、「木のおもちゃと遊びの広場1」の対応人員が足りなくなりました。そのため、来場者増による混雑緩和と、おもちゃのメンテナンス、スタッフの休憩時間確保を兼ねて、広場をクローズする時間を設けることになりました。(両日とも、正午過ぎに各 30～40 分程度)



## b.「木のおもちゃと遊び広場2」

この広場は、「木のおもちゃと遊び広場1」と同様の木のおもちゃで遊べるスペースと、協力団体による人形劇、わらべうた、紙芝居、読み聞かせ、ブロックシアターなどの出し物を見て楽しめる遊びのライブステージのスペースを併設したコーナーで、次のような演目が行われました。

### プログラム

30日(土)	演目	出演者
12:00～	遊びのライブステージ	KOW
12:15～	三線による子供音楽	佐事安夫
12:45～	リズムダンス	沖縄福祉保育専門学校
13:30～	指笛コンサートと指笛教室	指笛王国
14:45～	紙芝居「かにじょうまんの星」 昔語「アカナー主とウナー主」	沖縄子どもの文化研究会
15:30～	おはなしキュービック	こはちゃんくらぶ

31日	演目	出演者
12:30～	空手でかぎやでふう	垣花弘光さん
12:45～	人形劇「ぶす」、 「せんたくものえんそく」	沖縄なはこども劇場
13:30～	子供向け落語	おきらく亭すい好
14:00～	三線とギターのライブ	沖縄県学童保育支援センター
14:15～	昔遊びオンステージ	沖縄県学童保育支援センター
14:45～	絵本の読み聞かせ	屋良小学校読み聞かせグループ「にじいろの会」

「木のおもちゃと遊びの広場1」同様、沢山の木のおもちゃで熱心に遊ぶ傍ら、ステージではバラエティに富んだ出し物が繰り広げられ、子供だけでなく大人にも人気を集めました。その反面、次のような問題点もありました。

- ◇ 客席と高低差のない簡易ステージで演目によりスペースが狭く、急遽客席を縮小した演目があった。
- ◇ 設備が整わずマイク不足で出演の方にご不自由をかけた。
- ◇ 併設された遊びの広場に、大きな音の出る木のおもちゃが置かれており、演目の邪魔になった。



また、せっかくの木育イベントなので木育啓蒙する演目や講話があったほうが良かったといったアイデアも寄せられました。次回以降もステージを行う際にはこういった点も加味し全体的な構成を検討する必要があります。

## ② ワークショップコーナー

### a. 「木育手づくりの広場」

軒下の屋外会場に設けた「木育手づくりの広場」では、木作家、木エグループが「木育」をテーマに思考を凝らしたワークショップを実施し、2日間で7つのメニューに合計374名が参加し、メイン会場に継ぐ人気のコーナーとなりました。

ワークショップの内容は糸鋸や旋盤を使った本格的なものから、木っ端、木の幹、などを工夫して材料とするワークショップ、鋸や鉋を実際に使って作品を仕上げるワークショップなど、バリエーションに富み、小さなお子さんだけでなく、お父さんお母さんも夢中で取り組んでいました。老若男女、作品作りに取り組んでいるときの参加者の真剣なまなざしがとても印象的でした。



「木育手づくりの広場」プログラム(30日、31日両日共同)

時間	メニュー	工房名
10:00～	組み木の玩具	おもしろもんちゆうま
10:00～	マイ箸作り	b12
10:00～	木っ端でアート	木の工房 楽樹
10:00～	木の独楽	オサム工房
10:00～	丸太の椅子づくり	木の工房 楽樹
12:00～	森の小人&クリップ人形	handicraft 森の樹
12:00～	木の車	ゆいむん工房

ワークショップを主催した工房の方は販売も行ってたため、ワークショップ対応中は販売を他店の方に見てもらい形になりました。イベントへの集客が多かった分、ワークショップも販売(製品の管理)も大変な人出となり、休みなく対応に追われる工房の方が殆どでした。この大きな反響は、紛れもなく木工ワークショップに対する人々の関心の表れであり、木育推進の中で、上手に取り込むべきコンテンツであり、大いに開発の余地と可能性があると感じました。

ワークショップの道具は危険な道具も多く、あまりの人出に危険な場面もあったとの報告がありました。今回は事故もなく無事に開催することができよりましたが、今後はスムーズな運営だけでなく、安全確保の観点からも、木育手づくり広場にはしっかりと人数を確保し、ゲガや事故の無いよう、製作の見守りをする必要があります。

ワークショップの様子



## b. 「ワークショップの広場」

室内に設けたワークショップの広場は「オキナワン・トラッドおもちゃの工房」「オキナワン・アートおもちゃの工房」の2つにエリア分けをしました。「オキナワン・トラッドおもちゃの工房」では沖縄に古くから伝わる伝統工芸的な手づくりの工房として、マーニを使った自然物玩具、竹や空き缶を使ったおもちゃ教室、紅型、琉球張り子などのワークショップを実施、「オキナワン・アートおもちゃの工房」では新しい技術を取り入れた創意工夫の工房として、クレイアニメーション体験、クラフトバスケット教室、紙コップ、ペットボトルの蓋を使った手づくりおもちゃのワークショップなどを実施しました。

2つのエリアはともに、毎時間様々なワークショップで楽しむ姿が見られ、2日間を通して1000名を超える方々が参加しました。参加者には親子連れだけでなく、保育・教育関係者が学びに来ている姿、お年寄りが懐かしそうに参加する姿もあり、開催者からの喜びの声も届きました。

### オキナワン・トラッドおもちゃの工房 プログラム

メニュー	実施者	備考
草木を使った 手作りおもちゃ教室	沖縄グッドトイ委員会	両日 材料がなくなり次第終了
琉球張り子絵付け体験	ロードワークス	30日 14:00～15:00、 先着 20名
紅型体験	城間あずき	30日 10:30～12:00 先着 10名
竹のセミ、がりがりトンボ	ピノキオ	両日、 材料がなくなり次第終了

### オキナワン・アートおもちゃの工房 プログラム

メニュー	実施者	備考
クレイアニメーション教室	又吉 浩	30日 午後のみ
割り箸てっぼうで遊ぼう	沖縄大学学生	31日 午前のみ
クラフトバスケット教室	沖縄育児サポートすきっぷ	両日 材料がなくなり次第終了
マース太鼓づくり	学童保育支援センター	両日 材料がなくなり次第終了
種の不思議	学童保育支援センター	両日 材料がなくなり次第終了
手作りおもちゃ	古波蔵児童館	30日 午後のみ、31日は終日 材料がなくなり次第終了

大人も子供も様々なワークショップに目を輝かせてとりにくんでいました



### ③ パネル展示

木に関すること、木育に関すること、また沖縄の子育て支援団体に関する取り組みを報告し、幅広い情報を得ていただくため、会場内各所にて以下のようなパネル展示を行いました。持ち帰り可能なリーフレット類とあわせてコーナーを設置し、立ち止まり資料に目を向ける人々の姿が多く見られました。

場所	展示団体	展示内容
木のおもちゃと遊び広場1内	NPO 法人日本グッド・トイ委員会	木育に関する展示
ワークショップの広場前通路	沖縄県森林組合連合会	木の生育に関する展示
ワークショップの広場前通路	沖縄県学童保育支援センター	活動報告・団体紹介
木のおもちゃと遊び広場1内	「たいようのえくぼ」	活動報告・団体紹介
木のおもちゃと遊び広場1内	沖縄グッド・トイ委員会	活動報告・団体紹介
売店横	沖縄なはこども劇場	活動報告・団体紹介



#### ④ 第1回 沖縄木育円卓会議の開催

沖縄初となる「木育会議」を実施いたしました。県外から林野庁木材利用課職員、東京おもちゃ美術館の担当職員、木育のトップリーダーである学識経験者を招き、県内から木工関係者、木工作家、子育て支援団体、県議会議員、建築業者、木工指導者、環境教育関係者、県森林緑地課職員等が参加。前半の1時間20分で県外からの木育有識者の講演を聞き、後半の1時間30分を参加者の意見交換の場としました。

関係各方面から31名が参加し、自己紹介と木育に関するご意見を出し合いましたが、参加者からは時間が足りなかったという声が上がりました。またイベントと木育会議の時間が重複していたため、参加できなかった木工関係者も多く、アンケートでも開催日時の変更に関する強い意見が集まりました。

第1回の木育会議ということで直接的な木育関係に参加を呼びかけて実施いたしました。（参加者は【添付資料②】参照）。今後の開催に向けては、教育庁関係者、林業関係者、造園関係者へと参加者層を広げてはどうか、といった声が上がっており、これについては木育会議のファシリテーターである日本グッド・トイ委員会にも打診の上、今後に向けて調整予定です。



## ⑤ 県内木工作家による子供向け木工製品の展示販売「沖縄の木の広場」

県内木工作家による子供向け木工製品の展示販売コーナー「沖縄の木の広場」には13店舗が出店、積み木、木の車、ガラガラ、のぼり人形の他、木製乗用玩具、ドールハウス、流し台や子供サイズのちゃぶ台、子供用イス、食器、インテリア小物などの子供に向け木工製品や雑貨が並びました。

物販実績は店によりばらつきがあり(P34の販売集計参照)当イベントへの集客を見込んで、物販で実績を上げるには、広場のおもちゃの構成を事前に把握した上で、各店ごとのより綿密な商品計画が必要です。さらに木のおもちゃと遊び広場の出入り口前に当コーナーがあったため、広場のおもちゃと同じように製品を扱い、繊細な製品を破損してしまふトラブルもあつたため、会場内でのコーナー配置・導線について留意が必要です。

### 【出展店舗】

handicraft 森の樹、ゆいむん工房、b12、おもしろもんちゆうま、木暮し工房、工房地球のかけら、木の工房楽樹、たま木工商店、GRAIN、沖縄子育て良品、テツカー人工房、ティーチ・ワン、株式会社丸海きあら、



## ⑥ その他の取り組み

### 発達障害児童の参加

個性的な子をもつ親の会「があなきっず」の親子を、30日の一般来場者退館後に招待し、沢山の木のおもちゃで遊んでいただきました。この時間設定はがあなきっずの方が、他の子どもたちとの関係性を危惧され、あえて一般の来場者と時間帯をずらし、対応する学生ボランティアをつけて実現したものです。



子どもたちが楽しんでいた様子は伺えましたが、更に後日、があなきっずの親御さんより「普段のおもちゃ遊びより、各自が集中して遊んでいた」「たくさんのおもちゃで気兼ねなく遊べる機会はまずない。とても喜んで」「楽しく興奮してしまいお友達とトラブルになるのではないかと思ったが、トラブルもなく落ち着いて遊んでくれて」「これが木の魅力、香り・雰囲気。木のおもちゃの持つ力なの

ではないか」といった嬉しい感想を聞くことができました。

この取り組みに関しては、東京おもちゃ美術館との調整が難航しましたが、実施することができ、是非次に繋げて行きたい取り組みです。

### 授乳室の設営

実際の利用人数は把握できませんでしたが、おむつ交換など多数の利用者がありました。

また、沖縄大学の学生が授乳室の半分のスペースを利用して子育て中のお母さんを対象に、オキナワンアーユルベータ(フットバスやタッピングなどでの香り豊かなリラクゼーション)のワークショップを実施しました。



### シャトルバスの運行

会期中、30日(土)は9:30~17:00まで、31(日)は10:00~16:00まで、沖縄大学長田駐車場と沖縄大学の間を沖縄大学のシャトルバスが運行しました。ほとんどの時間帯が満席となるほど、多くの方々に利用されました。(20分間隔でピストン運行、マイクロバス)。

暑い時期の子供連れでの移動には、5分歩くことも困難と感じる人が多く、駐車場の確保だけでなく、シャトルバスを運行することができたことは、サービスとしてとても喜ばれました。

### 売店での軽食と飲み物の販売

沖縄なほこども劇場による「売店」では、冷たい飲み物と月桃饅頭を販売。こども劇場の活動紹介、会員募集をしながら、来場者に利用されていました。

滞在時間が長かった方が多く、軽食コーナーの充実を求める声がアンケートにあがっていました。



## ミニシアターでの短編アニメーション上映

沖縄県立芸術大学より学生製作の短編アニメーションDVD(約20分)を借用し、沖縄大学図書館1階のミニシアターにて上映しました。30名ほどが座れるミニシアターは、大人の休息にも好都合で、予想より多くの利用状況がみられました。DVDの「内容がとても楽しかった」という声も寄せられた他、シャトルバスの待ち時間を利用して鑑賞された方もいたようです。(利用者数概算180名)常時対応するスタッフが配置できず、利用者数もカウントしきれなかったため、利用者の様子がわかりづらい結果となりました。関係者がDVDの内容を見られなかったという意見や、他のブースの対応に追われて、なかなかDVD開始する作業に着手できなかったという担当者の反省意見もあり、スタッフの配置方法も検討課題です。

## 被災地支援の取り組み

イベントに合わせて「笑顔のツリー」を企画しました。これは、協力団体より寄付していただいた切り株オーナメントを2つ¥50で購入いただき、応援メッセージや応援のイラストを書き、ひとつをツリーに飾り、ひとつを持ち帰っていただくというもの。イベント用に作成いただいたシンボルツリーは参加者の善意で埋め尽くされました

2日間で338名が賛同し、¥16,900の寄付が集まりました。  
(被災地支援に寄付)



## その他

会場前の芝生広場は、自然の風を感じるとても気持ちの良いスペースでした。その芝生広場を利用して、オープニングセレモニーを行った他、ボランティアによるバルーンアート、学生による流し素麺体験などで、多くの親子連れを楽しませていました。



#### IV. 時系列来場者数

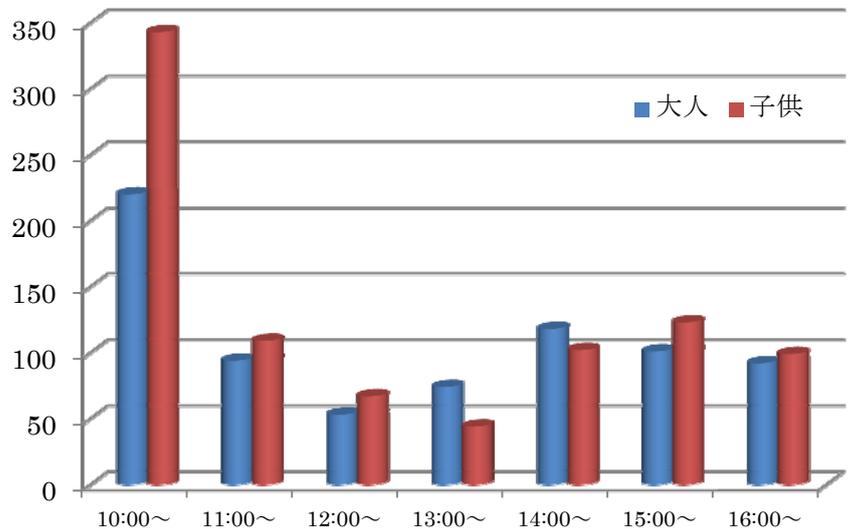
30日 大人 752人 子供 887人 合計 1639人  
 31日 大人 996人 子供 1072人 合計 2068人 2日間合計 3707人

会場出口より入場しようとする姿が見られ、急遽導線の修正を試みたが完全な改善とは行かず、2日間を通して出口より入場してしまう人が多数いた模様。その人数はカウント出来ていないため実数はこの数値より多いものと予測されます。

##### 時間帯別来場者数

30日(土)

	大人	子供
10:00～	220	343
11:00～	94	109
12:00～	53	67
13:00～	74	44
14:00～	118	102
15:00～	101	123
16:00～	92	99
合計	752	887

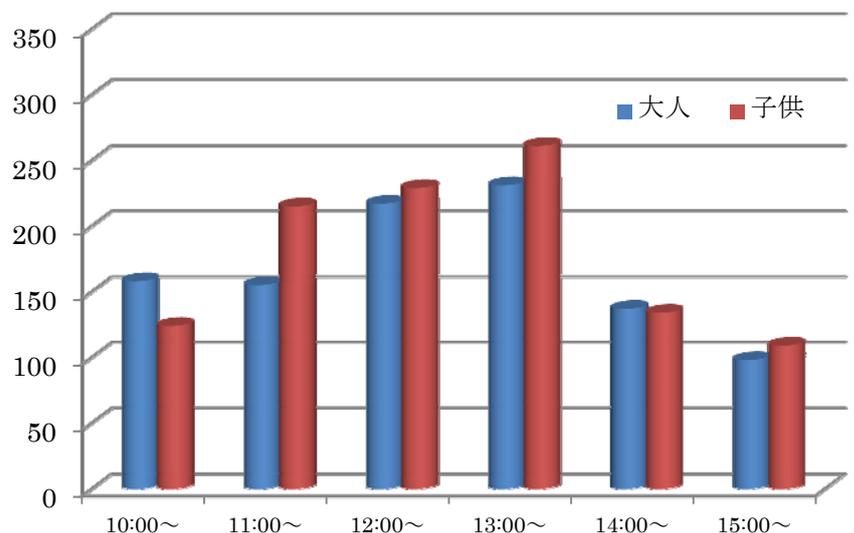


開場前のオープニングセレモニーの時点で既に子供 200 名程度が来場、開場直後の入場者数が期間中を通して最多となっているのはこの為です。また同時時間帯で大人に対して子供の突出しているのは、学童保育など、大人に対して子供の数が多い団体の入場があったことが考えられます。

メディアでイベントが取り上げられたこともあり、2日目は初日より来場者が増加しました。12時台で1000名を超える来場となり、会場内は予想を上回る多くの人々で賑わいました。日曜日ということもあり、家族での来場風景が多く見られ、グラフにもその様子が表われています。滞在時間に関するアンケート項目を設けていなかったため数値からは見えませんが、初日、2日目ともに朝から夕方まで終日混雑していた会場の状況から長時間滞在者が多かったことが推測されます。

31日(日)

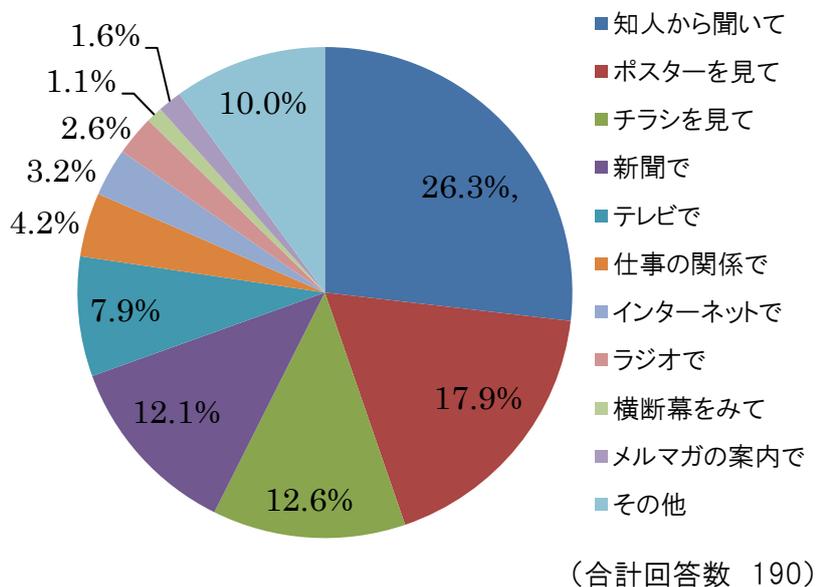
	大人	子供
10:00～	158	124
11:00～	155	215
12:00～	217	229
13:00～	231	261
14:00～	137	134
15:00～	98	109
合計	996	1072



## V. 来場者アンケート集計

### 1. 木育キャラバン in ユッカヌヒーを何で知りましたか？

何で知った？	カウント
知人から聞いて	51
ポスターを見て	34
チラシを見て	31
新聞で	23
テレビで	15
仕事の関係で	8
インターネットで	6
ラジオで	5
横断幕をみて	2
メルマガの案内で	3
※その他	19
(合計回答数)	(190)



※ その他

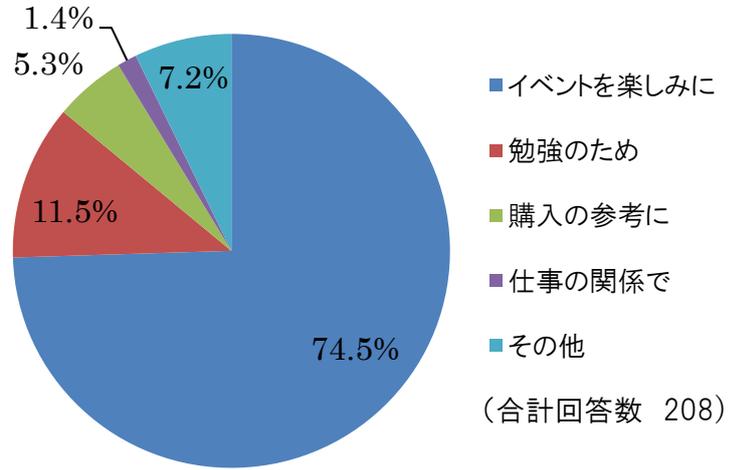
(「その他」以外の項目にチェックした人も書き込んでいるため、「その他」のカウントとは一致しません。)

内訳	カウント	内訳	カウント
学校で	12	保育園で	3
たいようのえくぼ(フリーペーパー)をみて	7	エイサーの演舞で	2
児童館で	5	こども劇場で	2

その他、ウィズメールで、先生の講義で、KBC 学園で、かみや母と子のクリニック、つどいの広場で、学童便りで、県庁で、公民館で、市役所保育係、小学校で、美容院といった少数回答もありました。

2. 来場の目的は？

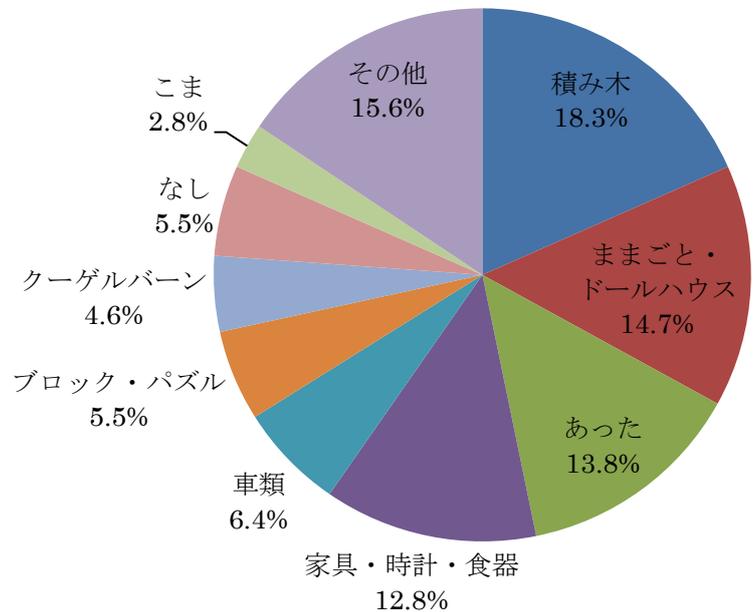
来場目的	カウント
催しやイベントを楽しみに	155
勉強のため	24
購入の参考に	11
仕事の関係で	3
その他	15
(合計回答数)	208



来場の目的「その他」に記入のあった内容としては、子供のため、子供の心の教育のため、おもちゃを見に、園外保育で、土曜で子育て広場が休みなので、えくぼのバックナンバーがほしい、木のおもちゃと触れ合いに、友人の出産祝い探し、子供の夏休みの宿題、木材が好きで、などの書き込みがありました。

3. 購入したいと思ったおもちゃはありますか？

おもちゃ名	カウント
積み木	20
ママごと・ドールハウス	16
あった	15
家具・時計・食器	14
車類	7
ブロック・パズル	6
クーゲルバーン	5
なし	6
こま	3
その他	17
合計	109

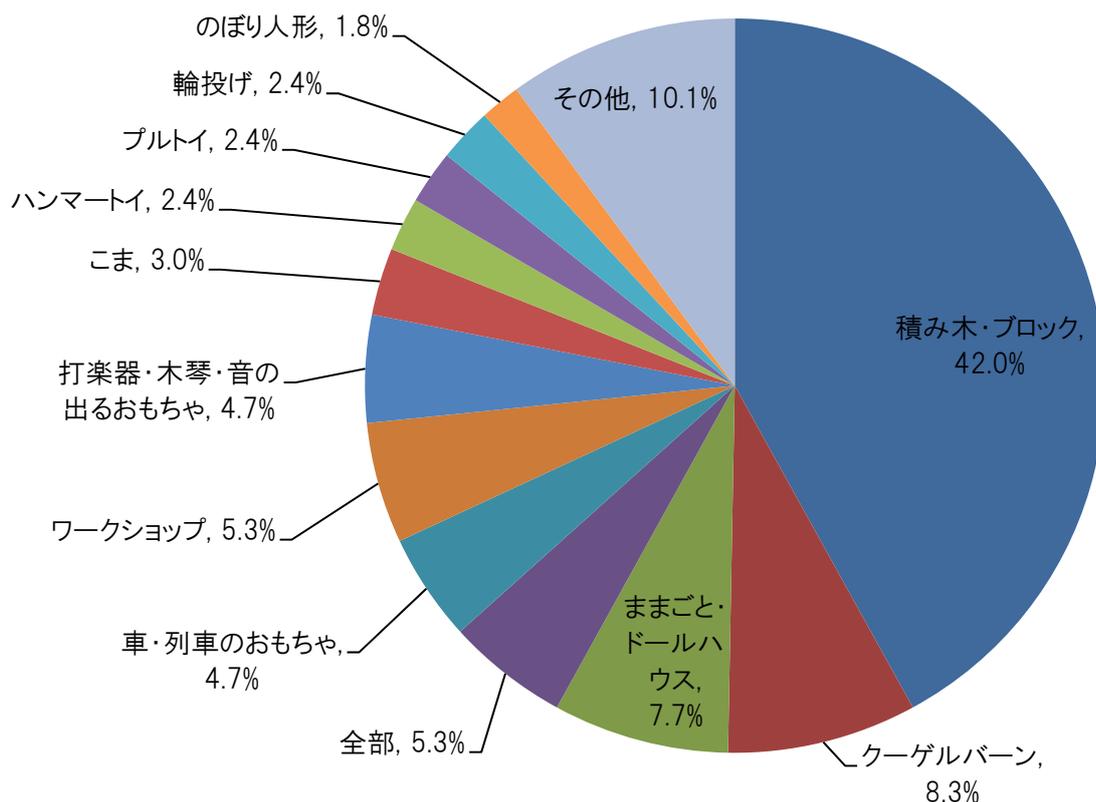


4. 子どもが楽しんでいたおもちゃは何ですか？

色々な積み木。ばってん、八角、竹、年輪、、、小中学生でも色々な工夫で遊べる。色々なおもちゃを楽しそうにさわっていました。積み木を身長の高さにまで積み重ねていた。

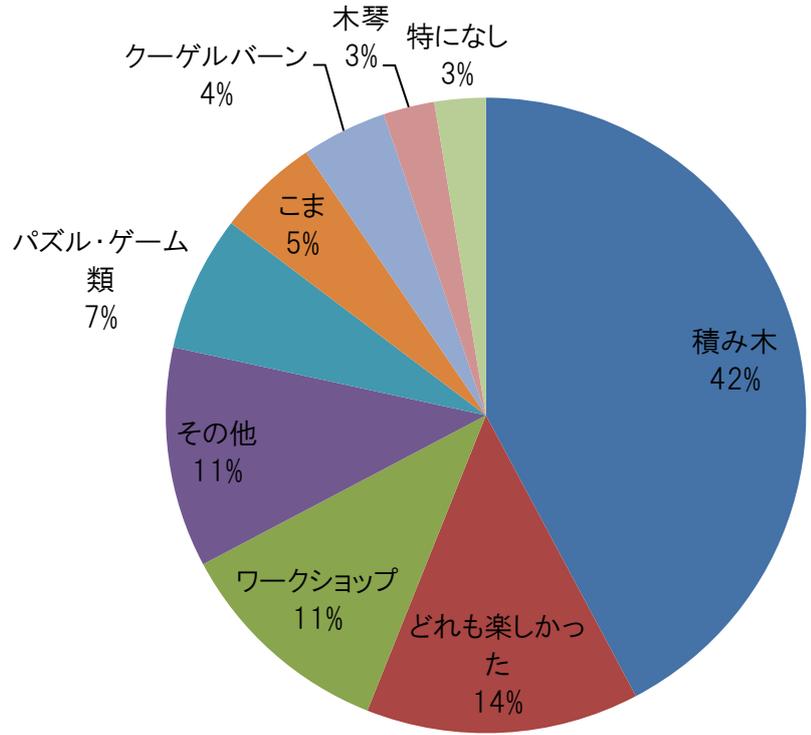
4～6の設問に対する回答はいずれも積み木が最多回答でした。ただし、おもちゃ名の張り出しができなかったため、積み木の種類までは特定できませんでした。

おもちゃ名	カウント
積み木・ブロック	71
クーゲルバーン	14
ままごと・ドールハウス	13
全部	9
車・列車のおもちゃ	8
ワークショップ	9
打楽器・木琴・音の出るおもちゃ	8
こま	5
ハンマートイ	4
プルトイ	4
輪投げ	4
のぼり人形	3
その他	17
合計	169



5. 大人も楽しめたおもちゃは何ですか？

おもちゃ名	カウント
積み木	49
どれも楽しかった	16
ワークショップ	13
その他	13
パズル・ゲーム類	8
こま	6
クーゲルバーン	5
木琴	3
特になし	3
合計	116

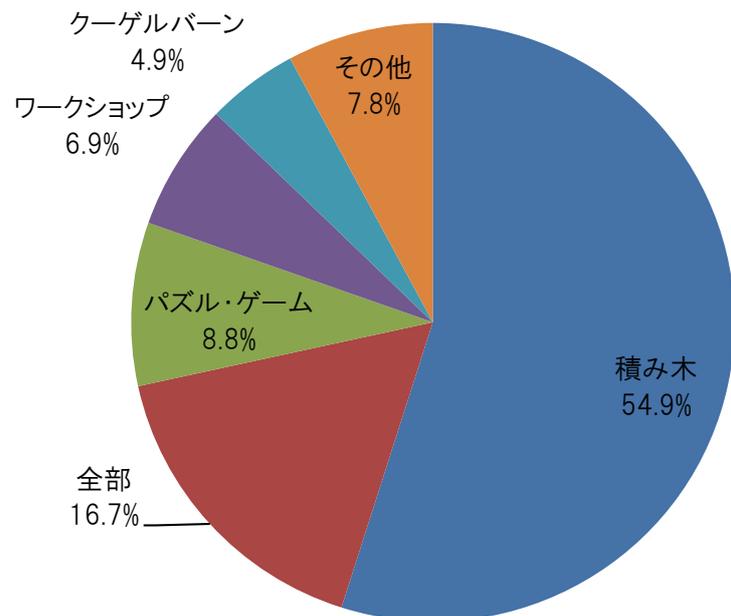


こま作り、てづくりおもちゃなど、草木のおもちゃ、紅型など、おもちゃと遊びの広場づくりなど  
大人が楽しめたおもちゃは何かを聞く項目でしたが、ワークショップに対する票も多く、特に竹のセミが人気でした。

6. 学習(発達の促進等)効果がありそうなおもちゃは何でしたか？

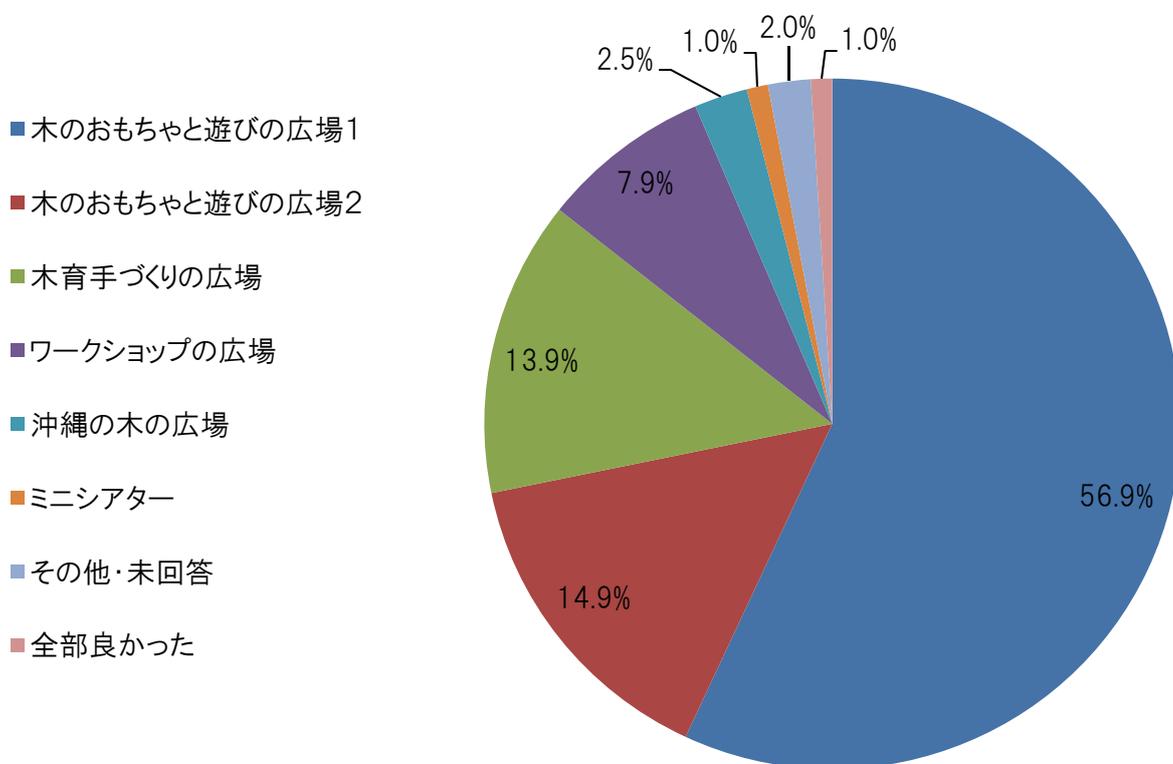
変わった形の積み木、頭を使うもの、作り手の作意が表に出ていないけれど、丁寧に作られているものがいいといった意見がありました。

	カウント
積み木	56
全部	17
パズル・ゲーム	9
ワークショップ	7
クーゲルバーン	5
その他	8
合計	102



7. 一番印象に残ったコーナーは何でしたか？

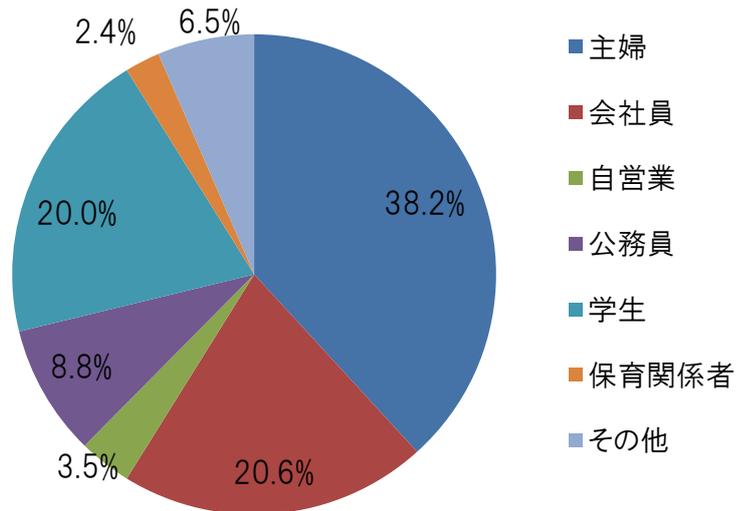
コーナー名	カウント
木のおもちゃと遊びの広場1	115
木のおもちゃと遊びの広場2	30
木育手づくりの広場	28
ワークショップの広場	16
沖縄の木の広場	5
ミニシアター	2
その他・未回答	4
全部良かった	2
(回答数)	202



やはり一番の人気は「木のおもちゃと遊びの広場1」で回答中半数以上の支持を得ており、ステージと併設する第2会場「木のおもちゃと遊びの広場2」と合わせると70%を超え、続いて「木育手づくりの広場」「ワークショップの広場」の順で人気がありました。アンケート未回収者の印象も、集客の状況から同様とされます。

8. あなたの職業は？

職業	カウント
主婦	65
会社員	35
自営業	6
公務員	15
学生	34
保育関係者	4
※その他	11
(回答数)	170



※その他の詳細

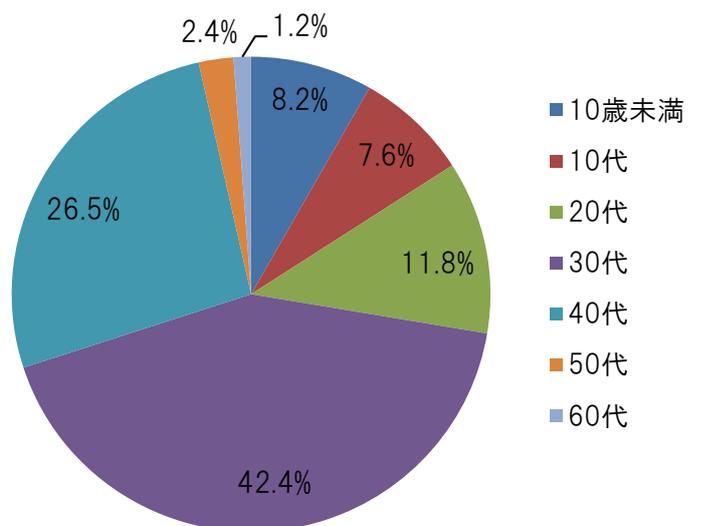
その他 未記入	5
その他 パート	1
その他 医療従事者	1
その他 看護師	1
その他 児童福祉関係	1
その他 無職	1
その他福島より自主避難中	1
Total	11

主婦、会社員という回答が多く、木製品関係者、保育関係者のカウントが少なかったように感じます。せっかくの機会ですから、是非保育関係者にはもっと来場してもらえよう働きかける必要があります。

開催場所が大学だったこともありますが、学生の回答が会社員とほぼ同数のカウントあったことは、とても興味深く、近い将来親になる学生達がこのような機会を体験することは、とてもよい機会だったと思います。

9. アンケートに答えている方の年代は？

年代	カウント
10歳未満	14
10代	13
20代	20
30代	72
40代	45
50代	4
60代	2
(回答数)	170

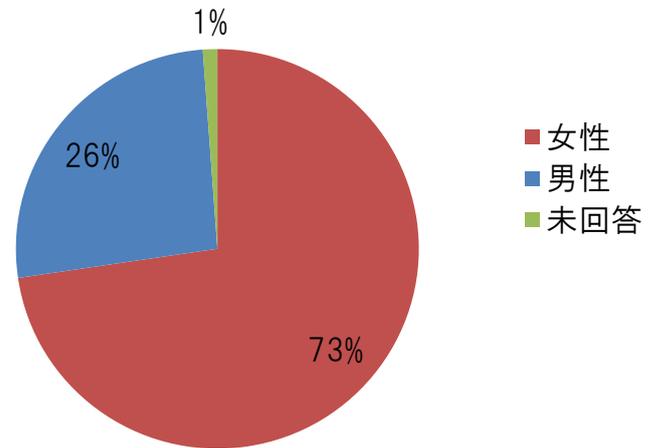


1番多かった30代の42.4%と、2番目に多かった40代の26.5%を合わせると30-40代で約70%を占めます。

回答では20代の割合が少なく、これは来場者数の割合に比例しているのか、または記入していない20代の方が多いのか判断しかねますが、子育て中の20代の親御さんには、こういった良い遊びを体験してほしいと感じます。

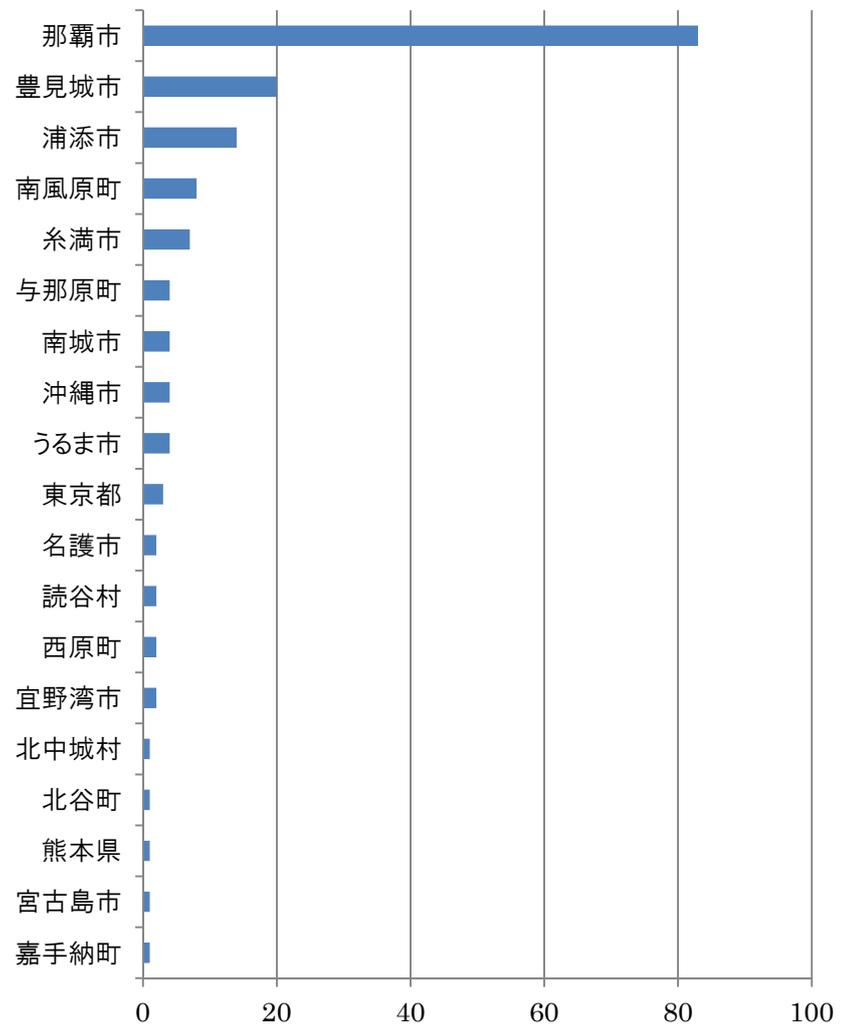
10. あなたの性別は？

性別	カウント
女性	125
男性	45
未回答	2
(回答数)	172



11. お住まいの地域はどこですか？

住まい	カウント
那覇市	83
豊見城市	20
浦添市	14
南風原町	8
糸満市	7
うるま市	4
沖縄市	4
南城市	4
与那原町	4
東京都	3
宜野湾市	2
西原町	2
読谷村	2
名護市	2
嘉手納町	1
宮古島市	1
熊本県	1
北谷町	1
北中城村	1
(回答数)	164



那覇市が半数を占め他地域からの来場者が少なく見受けられます。メディアでは、マイカーでのご来場を促したので、もう少し他地域からも参加していただきたかったところです。未回答者の分も含めると、実際の状況は定かではありませんが、情報発信だけでなく、体験を伴うイベントとしては、各地域でのフォローが求められる数値ではないでしょうか。

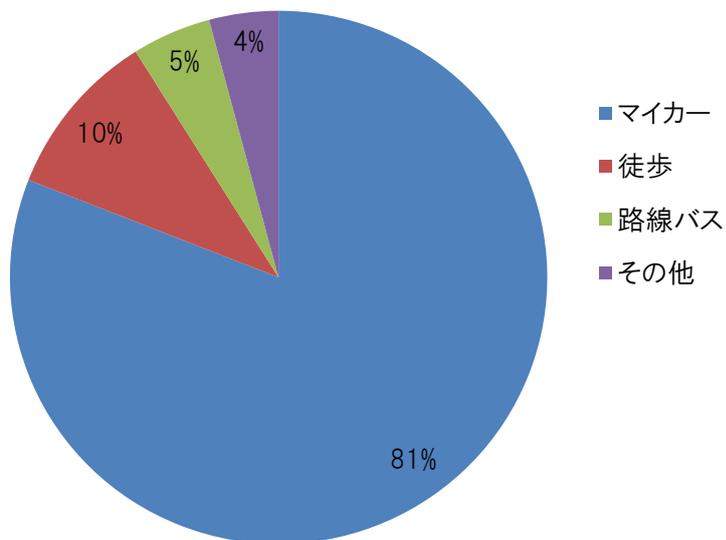
12. 何名で来場されましたか？

平均来場人数 3.7 名（回答数 172 件中、団体回答 1 件を除く 171 件で集計）

	大人	子供 (主に未就学児)	カウント
1 位	2	2	32
2 位	1	2	26
3 位	2	1	24
4 位	1	1	16
5 位	1	3	14
6 位	2	0	10
7 位	2	3	9
8 位	2	4	7

13. 本日の来場方法は

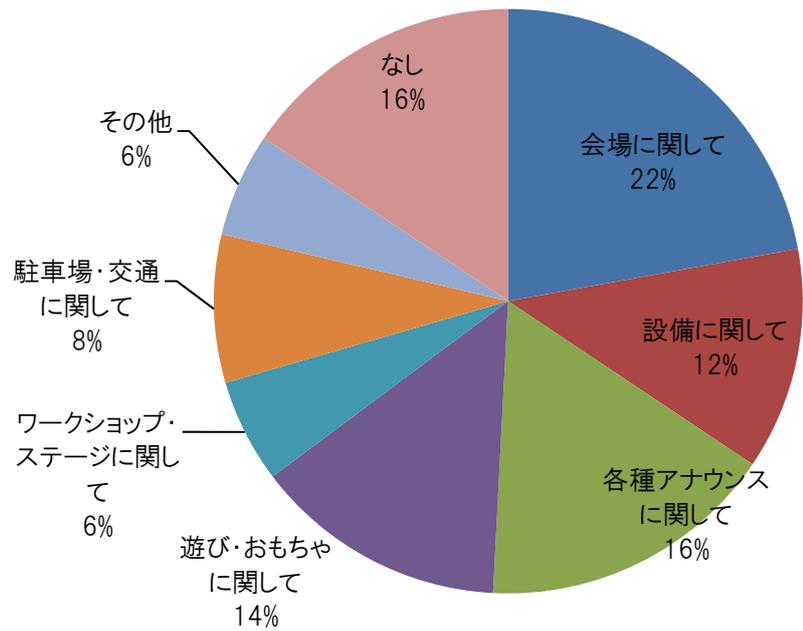
来場方法	カウント
マイカー	136
徒歩	17
路線バス	8
その他	7
(回答数)	168



圧倒的にマイカー利用者が多く、駐車場が確保でき、マイカー来場での来場が可能だったことが、来場者の増加につながったことは明らかです。沖大駐車場を貸していただいたこと、またそこからシャトルバスを運行でき、小さなお子さん連れの方々が会場まで来ていただきやすいよう工夫ができたことは、満足度の高さにも大きく影響しました。

14. 本日のイベントで改善してほしい点がありますか？

改善してほしい点	カウント
会場に関して	27
設備に関して	15
各種アナウンスに関して	20
遊び・おもちゃに関して	17
ワークショップ・ステージに関して	7
駐車場・交通に関して	10
その他	7
なし	19
合計	122



**【会場に関して】**

- 広いところでの開催希望 (25)
- 他の会場でやってほしい(1)、開催期間を1週間くらいで長くやってほしい。(1)
- 証明が暗かった(2)
- 休憩スペース・大人が座れるいすがもっとほしい(5)
- ベビールームを確保してほしいです。(2)
- かばん置き場が遊びの広場にほしい(2)
- あそびコーナーの出口、入口を分けてほしい。
- 軽食、弁当、食事ができるなどの店がもっとあると良い(4)
- 各会場にマイクでもあれば、スタッフの声が聞こえやすい

**【各種アナウンスに関して】**

- もっと宣伝してほしい(4)、入口付近に大きな図で場所の案内があるとよい(3)
- 有料無料は分かるようにしてほしい
- 強いて言うなら一目でわかる「おすすめ！」などの案内などを充実させてほしい。詰め過ぎ。
- 総合案内がほしい、何のコーナーがどこで何時から始まり、受付はどこでなど。
- 入口に一覧があってもいいのでは？
- トイレが分かりづらい
- プログラムの全体がわかるようなものがほしい
- タイムスケジュールや会場 Mapがあれば、と思いました
- 導線をわかりやすくしてほしい。
- おもちゃの値段提示
- イベントスケジュールのパンフレットがほしかった(会場地図)
- チラシではイベント内容があまり分からず、体験、工作のコーナー(受付)が終わっていた
- ただ遊んだだけで、プラスチックより木がいいと伝えられたかどうか・・・
- 学校を通じた告知があると良いのにとおもいます。

- イベントの通知が児童館を通じてされていたような気がします。この周辺には児童館がないので徒歩で来れる子がイベントに参加しないのはもったいない気がします。

### 【遊び・おもちゃの内容に関して】

- 木のプールがなくて残念。TVで芸人の田中さんが入っていて気持ちよさそうだったので、入りたかった。
- 時間が足りない。
- 学童の子供たちが人気のおもちゃを占領して遊べない！！いっぱんの人だけの入場にしてもらわないと来た意味がない
- 子供が遠慮して楽しめていないようでした
- 会場を年齢別に分けてほしい
- 幼児、乳幼児、小学生ともう少し区別できればよいのでは？
- おもちゃが少ない。ビー玉2個でみんなで遊んで、とか無理です。使えなくて泣いている子もいるし。
- 販売の木のおもちゃの種類を増やしてほしい。(値段の幅も)
- おもちゃの販売もしてほしい。
- イベント名がPOPだともっと楽しそう。
- 各コーナーにホストの方がいると、いろいろ聞きながらできたのでは？素材、使用方法、保存方法等
- おもちゃの名前が分からない
- ひとつひとつのおもちゃの名前が分からないのでアンケートが書きにくい
- 遊びかたを説明してくれる人がいるとよかった
- どう遊ぶのかの説明がほしい
- おもちゃの説明をする人がいたほうがいい。壁に遊びのポイントを張り出すとか？
- スタッフが自分のいるスペースのおもちゃを管理しすぎて自由に遊べなかった。
- パズルとかがあったらよかった

### 【ワークショップ・ステージに関して】

- 人気の材料を多くしてほしい、待ち時間を解消してほしい
- もっとたくさん手づくり広場を大きく、待ち時間が少なく出来たらいいな
- 手づくりコーナーでタイコをつくりましたが、魔よけで塩を入れてましたが、宗教的にどうでしょうか？すごく困ります。入れるなら米、豆、ビーズにして下さい
- そうめん流しはもっとほしかった流しそうめん、かげだともっと良い
- ライブステージは静かなスペースでやってほしい。人形劇はほとんどの声が聞こえない(周りがうるさくて)

### 【駐車場・交通に関して】

- 駐車場案内が分かりにくかった(3)
- 駐車場の案内をチラシ、ポスターなどで案内してほしい
- 交通の便が悪い。駐車場の確保、駐車場も遠い
- 駐車場への案内などがあって親切だったと思います
- 沖大に入ってから駐車場の案内があり、Uターンしないといけなかったこと。
- バスで来ようとしたけれど本数が少なくで、結局タクシーできたら、車で来てる人がたくさんいたので車でくればよかった

【その他】

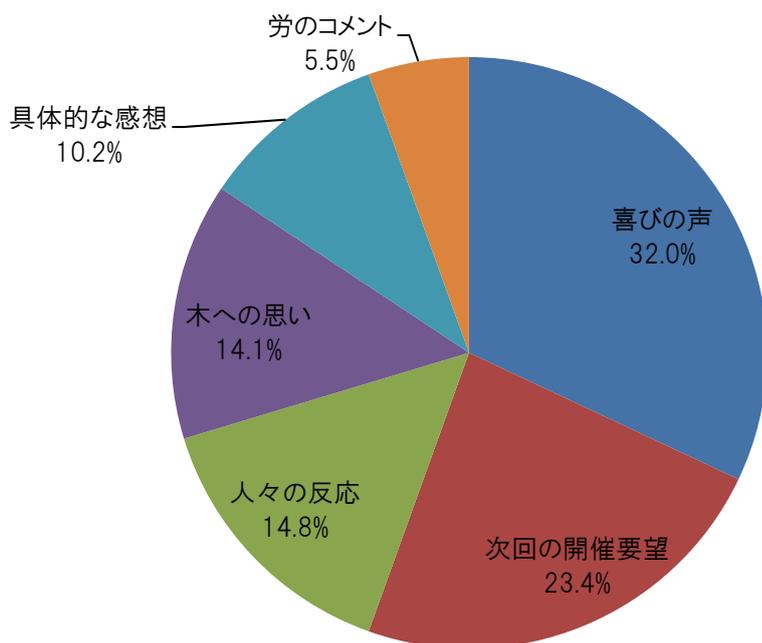
- 時期的にユッカヌヒーのタイトルは間違っただけではないかなあと感じた。
- 木のおもちゃを大小たくさん展示して、工作するエリア等夏休みの宿題も兼ねるといい気がします。
- 自然へ目を向ける教育、ネイチャーアドバイスのようなやんばるの森に還元できる木育があれば、と思います。
- 木のおもちゃがなぜこんなに面白いのかいいのか？をその現場で知ることができたらいいかも。
- NHK のピタゴラスイッチが好きですが、木のおもちゃでいろんな組み合わせでできるといいと思いました。木を主体に木と石、木と鉄、木とプラスチックといったおもちゃもかんがえられるのだろうか？石や鉄など、その手触りの違いを楽しめるかなーとか思いました。
- 児童館に是非こういったたくさんのおもちゃを置いてほしい。
- 沖縄は室内で遊ぶ場所が少ないので(ゲームセンター除く)子供達のために何か作れたらよいですね。

【なし】

改善点なし(19)、初なので改善ほしいのはわかりません

15. その他、感想、ご意見等をお聞かせください。

意見の種類	カウント
喜びの声	41
次回の開催要望	30
人々の反応	19
木への思い	18
具体的な感想	14
ねぎらいのコメント	7
回答数	128



【喜びの声】

- 感動しました。懐かしさがよみがえってとても心地よかったです。
- 素晴らしいイベントと思いました。
- とてもすてきな企画でした。
- このイベントに参加できた事に感謝します
- とても楽しく心が癒されました。ありがとうございました。
- とても楽しかった。次はもっと時間にゆとりをもってきてほしい。一日中いたい。
- とても楽しく勉強になりました

- 積み木も楽しかった。
- とても楽しかった・いいイベントだった(13)
- はじめてみるおもちゃもたくさんあって、手にとるおもちゃすべてがとても楽しめるおもちゃでした。
- おもちゃ広場や手づくり広場は大変面白かったです。
- とても広くて種類も多くて楽しかったです
- とてもいいイベントだと思います。
- 会場はどれもよかったです
- 大満足です！！
- めちゃ楽しかった

### 【具体的な感想】

- 色々な催しがあってよかったです！
- 色んなおもちゃであそべてうれしかったです
- おもちゃで遊ぶ広場でベビー用のおもちゃを説明していただき、楽しく遊べました。
- 思っていた以上にたくさんの玩具やイベントがあり楽しかった。
- この会場内にあるようなおもちゃを児童館に売り込んで頑張してほしいです
- 流しソーメン、こどもがすごく喜んでいました。それを見て親もうれしかったです。
- 流しそうめんが楽しかった。
- セミが楽しかった。
- つくったりするのがとても楽しいのでまたやりたい。紅型が楽しかった
- 夏休みの工作もヒントをえたり、作れたり思いつかなかったものを作れて感謝します。
- 色んなワークショップもあってよかったです。
- 面白いでーす(特にクレイアニメが)
- 無料のコーナーもあり、とてもよかったです
- 東京に行ったときに時間の都合でおもちゃ美術館に行くことができなくて残念に思っていました。今回は色々と楽しめて改めて尋ねてみたいと思いました。

### 【人々の反応】

- こういう場所をみんなが求めているんだなあ、沢山のこども達を見て思いました。
- 木のおもちゃはさわわり心地がよく、大人でも楽しめてすごく良いものだと思います。ありがとうございました
- 大人も十分に楽しめる木育、参加できて良かったです。
- 親子で楽しませて頂きました。ありがとうございます
- 子供が本当に興味を持って楽しんでいる姿があった。
- とにかく大人も子供も新鮮で楽しく楽しめた
- 家族で楽しめるイベントでした。ありがとうございました。
- 遊びの広場では大人も夢中になり積み木作りができて楽しかったです(子供はもちろん)
- 来場者も多く、大人から子供まで楽しめるイベントでした。
- 子供がとてもよこんでいます。
- 子供が楽しそうに遊んでいました
- 子供にとっていい勉強になったと思った
- 学校の先生からすすめられてきたけど、とても楽しくて、子供たちも楽しんでいるのを見てとても良かった

- 子供たちが夢中になって遊んでいてとてもよいイベントだと思いました。
- 子供がとても楽しんでた。
- 色んなおもちゃに触れられる子供たちの笑顔は素敵でした。
- 楽しかったです。子供も楽しんでました
- 子供も夢中で遊んでいてとても良かった。沖大卒で久しぶりに学校に来て、子供と楽しい時間が過ごせた事に感謝！ありがとうございます。
- 積み木で遊ぶ子供たちの発想の転換(積み木の組立て方の工夫)には目を見張ります。

### 【木への思い】

- 現状は子供達は家でゲームをすることが多いので、木のぬくもりに触れさせながら育てていければ親も嬉しい
- 沖縄にも木のおもちゃで遊べる場所があればいいなあと思いました。こういうイベントは初めてだったので、いろいろ勉強になりました。
- 楽しい時間を過ごせました。プラスチックのおもちゃしかもっていないので、木のおもちゃもいいなあと思いました。
- 最初は私の手を離さないでいたのですが、木のおもちゃに触れると手を離して遊んでいました。
- 木で色々な物を作っていてすごいと思った。おもちゃの音と木の音の違いを聞けたし、においでも癒された。
- 以前から木のおもちゃに興味があったので、とても楽しく遊べました
- 沖縄ではあまり見ない木のぬくもりのあるおもちゃに自由に触れてみて、体験遊べるのがとても良かったと思う。
- こんなにたくさんの木のおもちゃとのふれあいは初めてで、いろいろ遊べてとても楽しかったです。スタッフの皆様おつかれさまでした
- 木のおもちゃは良いとは思いますが、どうしても値段が高く購入までは…。なのでこういう機会をたくさん作って木のよさに触れさせてあげたいと思いました。
- 大人も子供も楽しめました。駐車場があるので助かりました。ドールハウス、とてもほしいです。長女がとても興味を持っていて、夢がありました。お金をためて購入しようかなー
- やっぱ木のおもちゃはいいなあ、と思う反面高くて手が出せない。なので安く体験できたのはとてもいい経験だし思い出になりました。大事にしたいと思います
- 木育と言う時間を子供に与えることができ良かったです
- 木のおもちゃに癒されました。
- 木のおもちゃは興味あるけどなかなか身近で目にしたり手にとったりすることがすくないのでとても良いイベントだと思います。7月31日付けのタイムスで初めて知ったのもっと早く気付けばよかったと思いました。今日だけでは時間が足りません。
- 木のさわり心地がとてもよかったです。将来子供ができたなら木のおもちゃで遊ばせたいと思いました
- 木のプールがあるとよかったです。でも充分たのませてもらいました。是非またやってください。セミ作りお世話になったおじさんありがとうございました
- 木の香り、ぬくもり 大人でも子供でもいやされると感じました。食器等、生活の中でも木製のものを取り入れたい
- 楽しい！木のいい香り

### 【イベントへの要望】

- 是非またやってほしいです。
- 年1回と言わず月一でもお願いしたい

- 同様なイベントを年に複数回
- 来年もやってほしい
- 来年も是非やってほしい
- 定期的にやってほしい。
- 今後もイベントを続けていってほしい
- 今後も続けていってもらいたいです
- またこういうことをやってほしい
- 毎年やってほしい！！です。(年2回でもよい)
- 又、来年も期待しています
- 次回も予定されていますか？
- またイベントをしてほしい
- またやってほしいと思いました
- また開催して下さい！！
- また次回も企画お願いします
- また開催して下さい
- また来年もお願いします。
- 是非来年も沖大でやってほしいと思います。
- 来年もよろしくお願いします
- 来年も是非おねがいします。
- このイベントがずっとつづいてほしい。
- ぜひまたやってくださいね
- またこのようなイベントをやってもらえたら参加したい。
- 今後もこのようなイベントを続けてほしいと思います。
  - 明日もまたきます
  - 今回をきっかけに沖縄各地で催してほしいと思いました。
  - 是非毎年開いてください！！
  - また開催して下さい。とても楽しく過ごせました
  - 毎年やってほしいです。

#### 【ねぎらいのコメント】

- 駐車場の大学生の人たちがすごく優しくてとても感心しました！！暑い中おつかれさまです。ありがとうございます！！
- 沖大の子が子供たちのためにがんばっている様子がほほえましかったです。
- 駐車場系の学生さんの笑顔での対応に好感を持ちました。ありがとう
- 授乳室やシャトルバス、ベンチ設置など、細かい気配りがサイコーでした！！、サイコー！！
- シャトルバスがありとても助かりました
- ピストンバスからの配慮があつてよかったです。ありがとうございます、お疲れ様でした。
- 暑い中Pでバス乗り場の係りをしていたスタッフの方、道案内の方、流しソーメンでがんばっていたスタッフの方々、ワークショップで子供たちの相手をしてくれた方達、すべてのスタッフさんお疲れ様でした。

## VI. 出品者アンケート（13 店舗に実施）

### 1. 木育キャラバンに参加して

よかった(8) / どちらともいえない(0) / やめておけばよかった(0)

### 2. ブースの広さ

丁度よい(6) / やや狭い(2) / 狭すぎる(0)

### 3. 開催場所

よい(6) / どちらでもない(1) / 変えたほうが良い(1)

### 4. キャラバンのおもちゃを見る時間はありましたか？

充分あった(1) 少しあった(3) あまりなかった (6) 全くなかった (1)

### 5. キャラバンのおもちゃから影響を受けた点がありましたか？

- おもちゃをあまり多く見ることはできなかったが、とてもおもしろく自分でも作ってみたいと思った。
- 沖縄で木育・木のおもちゃという事にここまで関心があるのに驚いた。ワークショップに付きっきりでほとんどおもちゃを見る時間がなくて残念でしたが夢中で木で遊ぶ子供たちを見て、今のゲーム社会に一筋の光を見ました。
- 積み木(色々な形、サイズの)
- 積木
- 具体的にどのおもちゃとは言えないが、子供が成長してゆく過程で、どのようなおもちゃが必要になってくるのだなあということがわかってとても参考になりました。
- 良いおもちゃのアイデア・水準が全体として俯瞰できました。動きの特徴などもう少しじっくり見られる時間があればよかったですが。
- どうしたらこんな仕様を思いつくのかと思うものもありましたが、シンプルなおもちゃでも十分子供たちは楽しめると思いました。
- 木のぬくもり、においの中で遊ぶ子供達のワクワクしている顔を見て、あらためて自然の物から作られたおもちゃで遊ぶと創造力も養われるのだらうと感じました。
- 子供がとてもうれしそうだった。

6. イベント後の反応はありましたか？

ある(1) ・ ない(10)

→ 工房で体験はやっていましたか？と問合せがあった

7. 皆さんのお近くで木育おもちゃ広場の開催を希望されますか？

する (10) ・ しない(1) ・ どちらともいえない(1)

8. 開催場所に心当たりはありますか？

ある(2) ・ ない(7)

→ 公民館、浦添美術館

9. ワークショップをされた方へ。お気づきの点をご記入下さい

- 参加者が多かったので、もう少し広いスペースを望む
- 電源を増やしたほうが良かった
- 予想以上の人出で対応できない場面があった
- ボランティアを含めて、メニューとスタッフの見直しが必要と思う。
- 純粋に仕事として行うのであれば、人員準備も含めて価格設定の上方への見直しが必要かもしれません(補助金との兼ね合いも)
- もっと場所が広いほうが良いと思う

10. イベント運営に関してのご意見ご感想

- 木育会議とイベントを分けて下さい。
- ワークショップの手伝いのボランティアはフルタイムで張り付いてもらう必要があります。
- 県内木工品の販売は、今回のスタイルでは難しい。(商品管理面、費用対効果面も)ギャラリーショップのような形で、本会場と仕切った上での合同ブースは可能かもしれません。

- おもちゃの展示ブースと販売ブースは区別がつくように、場所を離れたほうが良い。お客様が無料の展示物が商品か判断できず、販売品の扱いが悪く、破損も出た。
- 入場無料になったのは良かった。シャトルバスや駐車場が準備されたのもよかった。
- 搬入口がもっとあると良かった。
- 販売するところではなかった。今後もし販売で続けるのであれば、販売する方たちへの作品の大切さを、もっとお客様に伝えてあげた方が良いと思う。商品もキズつけられた人が多いようでした。販売は無い方がいいと思います。
- 食べ物屋さんも木育と食育を通じてつなげられるイベントになればもっと楽しめるはずです。
- 出店のみでしたが、店番があり木育会議に参加できませんでした。
- ワークショップがすごく人気で(良いこと)、お店番が出来ない方が多かったので、忙しい時間はそこを何とかすると良いと思いました。
- 木育会議がイベントと同時開催だったため、参加できなかった。
- ボランティアはじめスタッフはよく運営されていたと思います。木育会議に関しては時間帯やわざわざ木育に関する活動をされている方をおよびしているのも、もっとたっぷりと議論を深める進行をしてほしかった。沖縄の木育の事例報告もあると良かった。

#### 11. 今後に向けてのアイデア、提案など

- 2日間というのは短い気がします。県立美術館、浦添美術館等の会場を使って1-2週間程度のイベントにするくらいの内容は充分にあるのではないかと思います。長期間のイベントであれば、その中で、各種ワークショップは余裕を持って配置できるのではないかと思います。
- 木育会議自体はとて素晴らしいことがだと思し、内容も良かったが、やはりイベント開催時間中に行われたのは残念だった。翌日の14:00からお客様がたくさんいらして、ワークショップの売上げも上がったので、木育会議の時間帯もワークショップが出来ていたら、もっと集客できたように思う。また、会議中にも意見がでたが、もっと色々な業種の人達も参加できたらより広い意見交換が出来たのではないか。
- ワークショップの方達と販売の方達の県の予算の使い方のちがいのあり方にぎもんをもちました。
- 木育に役立つ苗木の販売や無料配布
- 野外ブースも料金を安くして参加できるほうがにぎやかでいいです。
- とても良いイベントでした。お疲れ様でした。
- おもちゃで遊ぶスペースが人でいっぱいになっていた。もう少し会場にゆったり感があつたほうがよいのでは。
- 木育の目指すところは持続可能な社会作りかと思えます。そうした社会は時間もお金も手間も掛かるが、いいことが待っているもの。当イベントが至れり尽くせりになってしまうと参加者にとっては他のレジャーイベントと変わらず、意識付けも難しいのでは。多少不便なくらいがこのイベントらしさだと思いますがどうでしょうか？ 今後に期待しています。お疲れ様でした。
- 多くの方が来場してくれたのはとてもよかったが、会場のキャパをオーバーしていたと思う。時間帯によってはかなりの子どもたちがいたので安全面が気になった。
- 販売に関しては、工夫したほうが良いと思う。来場者の多くは買うというより体験したい、触れたい、遊びたいという気分だったと思う。

## VII. 販売集計

	30日(土)	31日(日)	合計	(平均販売価格)
木工店 A	2,300	5,400	7,700	2,500
木工店 B	15,000	15,000	30,000	800
木工店 C	0	0	0	—
木工店 D	10,000	12,000	22,000	3,000
木工店 E	5,000	25,000	30,000	15,000
木工店 F	2,000	6,400	8,400	2,000
木工店 G	32,000	0	32,000	13,000
木工店 H	0	0	0	—
木工店 I	2,500	2,500	5,000	1,500
木工店 J	9,800	23,000	32,800	16,400
雑貨店 A	15,000	11,000	26,000	1,000
雑貨店 B	46,665	47,260	93,925	—
雑貨店 C	0	29,700	29,700	1,000
合計	30日	31日	2日間合計	
	140,265	177,260	317,525	

当日の販売実績より、初の木育イベントへの参加協力の意義、また、今後の展望を模索するためにご協力下さった出展者が殆どで、販売実績が上がりにくいイベントであろうという点は周知してありました。アンケートの回答内容から、一部の出展者に周知が徹底していなかった様子が伺えますが、大半の出店者の方からは、参加意義通りの前向きな感想を頂きました。

イベント開催中より、製品を丁寧に扱うようアナウンスで注意喚起しましたが行き届かず、製品破損のクレームがありました。遊びの広場と販売コーナーを明確に区別すること、販売の方法、販売がそもそも必要かどうか、といった点は次回への検討課題です。

木育であり、子育て支援でもあるという点から、子供向け生活雑貨の販売店にも出店していただいた結果、売上げは木工店より子供向け生活雑貨の金額が大きくなりました。販売内容は競合していませんが、各家庭の買い物の予算もあると思いますので、出店店舗の商品構成の方向性も検討する必要があります。

## VIII. ワークショップ集計

### ワークショップの広場

内容	参加費(¥)	参加数	合計
竹のセミ、がりがりトンボ	100	385	38,500
草木を使った手作りおもちゃ教室	50	324	16,200
手作りおもちゃ(もこもこイモムシ君、紙コップ工作)	100	85	8,500
紅型体験(額付き)／30日amのみ	800	10	8,000
琉球張り子絵付け体験／30日pmのみ	500	20	10,000
クレイアニメーション教室／30日pmのみ	500	30	15,000
クラフトバスケット教室	300	27	8,100
割り箸てっぽうで遊ぼう／31日amのみ	100	18	1,800
種の不思議／31に1回のみ	0	10	0
マース太鼓づくり	0	280	0
合計		1,189	106,100

ワークショップの広場は、材料費込みの価格で参加費を設定しています。

### 木育手づくり広場

内容	参加費(¥)	参加数	合計
お箸づくり	500	56	28,000
森の小人クリップ人形	500	37	18,500
木の車	500	32	16,000
組み木の玩具	500	47	23,500
木の独楽	350	81	28,350
木っ端でアート	500	29	14,500
木のおもちゃづくり(ヨーヨー、のぼり人形)	500	84	42,000
丸太の椅子作り	3,000	8	24,000
合計		374	194,850

木育手づくり広場は、木育体験普及のため材料費をイベント運営費より補助し、参加者からは参加費のみを徴収する価格を設定しています。

## IX. 関係団体の役割と担当者

	団体名	窓口	主な役割
主催	沖縄グッド・トイ委員会	土屋よしこ	イベント実行委員会をおき、運営全般を主催 (木育会議の開催)。 活動展示パネル、自然素材のおもちゃづくりワークショップ実施、人員の動員。 各団体の調整、実行委員会、各部会を運営。
共催	沖縄県	森林緑地課	沖縄グッド・トイ委員会への事業委託 県内の学校・保育所・児童関連施設へのPR。
	沖縄大学	工藤歩	会場の無料貸し出し。 子ども福祉サークルの学生等による運営協力(設営、運営、撤収)、 ワークショップの実施
協力	認定 NPO 日本グッド・トイ委員会、	曾我部 晃	キャラバンセット一式貸与。木育会議を主催。 キャラバン隊長、多田館長他、事務局長が来沖。
	ウッディ・ビエンナーレ in 沖縄実行委員会、	佐藤康司	木工関係者のネットワーク。 当イベントに向けて、県内木工関連団体のまとめ役。 展示販売、各種ワークショップの実施。
	沖縄県森林組合連合会		木に関するスタンドパネルの貸し出し
	沖縄県児童館連絡協議会、	長若道代	イベントPR。ワークショップ、ステージ、販売での出展。人員の動員
	沖縄県学童保育支援センター、	垣花道明	イベントPR。ワークショップ、ステージ、パネル展他での参加。人員動員、
	沖縄県立芸術大学デザイン専攻	座波嘉克	学生・卒業生の参加協力(ワークショップ他) 学生作成の短編ミニアニメーション集ビデオの貸し出し。 木のおもちゃ作家志望の学生の協力。
	沖縄なは子ども劇場、	玉城清美	イベントPR。 飲料販売、ステージ、パネル展示で出展。人員の動員
	沖縄子どもの文化研究会、	安里和子	イベントPR。 お話しの会、折り紙教室などワークショップのメンバー派遣
	沖縄福祉文化を考える会、	城間みどり	イベントPR。 お話しの会、折り紙教室などワークショップのメンバー派遣
	NPO沖縄児童文化福祉協会、	松本 淳	<del>名義使用のみ</del>
	たいようのえくぼ	保志門るり江	イベントPR。育児雑誌での広告(有料)、パネル展示
	沖縄子育て情報ういず		ネットでのイベントPR。
	子育て良品(株)	山本 香	ネット、店頭でのイベントPR。販売で参加。木に関する資料提供
沖縄育児サポートすきっぷ	名嘉眞佳奈子	イベントPR。ワークショップでの参加	
特別協力	国頭村森林組合	比嘉 進	琉球松ブロックの貸し出し。
後援	那覇市(子育て応援課)	比嘉 薫	那覇市内幼稚園、保育所へのイベントPR。
協賛	東京おもちゃ美術館	馬場 清	キャラバンセットの貸し出し他

X. 関係先チラシ・ポスター配布数

	団体名	チラシ	ポスター
主催	沖縄グッド・トイ委員会	500	3
共催	沖縄県	1500	適宜
	沖縄大学	200	2
協力	認定NPO法人日本グッド・トイ委員会、	30	不要
	ウッディ・ビエンナーレ in 沖縄実行委員会、	500	5
	沖縄県森林組合連合会	10	不要
	沖縄県児童館連絡協議会、	250	11
	沖縄県学童保育支援センター、	400	3
	沖縄県立芸術大学デザイン専攻	50	3
	沖縄なは子ども劇場、	500	特大1
	沖縄子どもの文化研究会、	25	不要
	沖縄福祉文化を考える会、	25	不要
	NPO法人沖縄児童文化福祉協会、	20	不要
	太陽のえくぼ、	150	不要
	沖縄子育て情報ういず	20	不要
	子育て良品(株)	100	1
沖縄育児サポートすきっぷ	100	1	
特別協力	国頭村森林組合	30	不要
後援	那覇市(子育て応援課)	300	3
協賛	東京おもちゃ美術館		不要
	total	4710	32

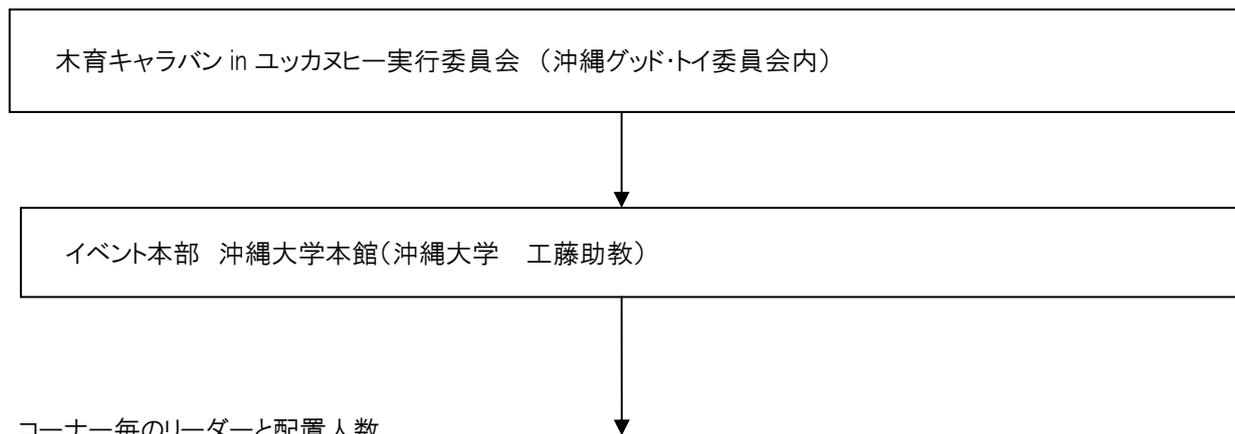
(印刷総数 5000部)

## XI. 進行概要

(以下の略称: 沖縄大学=沖大、東京おもちゃ美術館=TTM、沖縄グッド・トイ委員会=OKGT)

	4月	5月	6月	7月
沖大との調整	会場決定(仮予約)	本予約・図面取り寄せ	現場確認	備品手配などの開催準備
TTMとの調整	イベントイメージ整合	チラシ要素確定～チラシ入稿(6月13日納品)	会場レイアウト作成 東京より木育会議案内発送 各調整・報告	荷受調整 搬入～当日～撤収までの対応
県との調整	イベント説明	共催決定	委託契約締結	県広報の依頼
PRに関して	イベント要項にて告知	6末～配布開始	広告依頼(たいようのえくぼ) 協力団体等へチラシ配布 ラジオへの告知依頼 HPでのイベント告知	チラシの配布 マスコミへの投稿
OKGTの活動	状況説明会と勉強会(4/2) 各種外部調整・各種対応	状況説明と勉強会(5/14) 各種外部との対応	状況説明と勉強会(6/22) 各種外部との対応	会員へのチラシ発送 事前打合せ(週1回) 準備～当日の対応
共催・協力団体との調整	主催・共催・協力団体等の体制決定(5月) 各団体にて個別打合せ	各団体の役割再確認	ワークショップ補助費調整 実行委員会(部会)実施 役割分担等確認 木育会議・懇親会準備	関係団体へのチラシ配布 準備～当日の対応
その他	開催日変更			沖大、県顔合わせ(7/2) 実行委員会全体会(7/11) レイアウト変更(7/11) 行事保険の加入

## XII. 役割分担



	場所	担当リーダー
オープニングセレモニー	芝生広場	浦添(OKGT)
入口	入口	貝阿弥(OKGT)
総合案内	入口	土屋(OKGT)
同窓会館	A.木のおもちゃと遊び広場1	曾我部(TTM)
同窓会館	B.木のおもちゃと遊び広場2	大城(OKGT)
H-101	C.オキナワン・トラッド工房	浦添(OKGT)
H-102	C.オキナワン・アート工房	長若(児連)
沖大ホール	D.沖縄の木の広場	佐藤(木工)
屋外スペース 軒下	E.木育手作りの広場	古我知(木工)
屋外スペース 広場	F.売店	玉城(子劇)
図書館1F	ミニシアター	富田(OKGT)
3-102 教室	.木育会議	工藤(沖大)
3-102 教室	.懇親会	工藤(沖大)
弁当発注～管理	イベント本部	宜野座(OKGT)
駐車場整備	駐車場他	工藤(沖大)
会場案内	全体	学童保育
出口、アンケート	出口他	学童保育

### XIII. コーナー毎の内容と対応人数

コーナー	内容	配置 人数	予定人数			
			30(土)		31(日)	
			am	pm	am	pm
全体	総合案内の役割をする。	4				
	沖グ、沖大、県、学童セ					
	迷子案内、落し物管理、各種問合せ対応		3	3	3	4
入口	人数のカウント	2				
	アンケートを渡す	2				
	靴入れのビニール袋を渡す	2				
	※3名組み、2組					
	※1時間交代で担当内容を変更					
	入口前の導線をスムーズに案内する					
			7	8	7	6
A:木のおもちゃ と遊び広場1	遊びサポート・おもちゃの整頓	4				
	靴をぬぐ様アナウンス	1	6	6	8	7
B:木のおもちゃ と遊び広場2	司会進行	1				
	出演者のケア(謝金の有無)	1	2	4	3	4
	遊びサポート・おもちゃの整頓	1				
C:ワークショップ の広場	2工房のワークショップの補助	2				
	タイムスケジュールの管理	1	10	9	11	11
D:沖縄の木の広 場	製品の見守り	1				
兼 出口	各種案内					
	アンケート提出を促す		1	1	0	1
	おもちゃの持ち出し等のチェック					

E:木育手づくり 広場	ワークショップの補助	2				
	名簿記入を促す		3	3	4	3
	ワークショップゴミの片付けなど					
ミニシアター	AV 機器の操作、上映の確認	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
バス停	学校発着所	1				
	長田発着所	4	5	5	5	5
会場整備	会場までの導線、来客状況などを把握、問題点の早期発見と本部への連絡などの調整	1	0	0	0	0
授乳室	授乳室の整備	0.5				
	授乳室内ワークショップのサポート	0.5	1	1	1	1
合計		31.5	37.5	39.5	40.5	41.5

#### XIV. スタッフ配置表

所属		29pm	30am (10-13)	30pm (13-17)	31am (10-13)	31pm (13-16)
OKGT	土屋	全体	全体	木育会議	全体	全体
OKGT	宜野座	入口	全体	B	A	B
OKGT	寄合		オープニング・E	入口	A	A
OKGT	浦添	AC	オープニング・A	C	C	C
OKGT	外間		オープニング・B	木育会議	A	全体
OKGT	貝阿弥	A・入口・アンケート	入口	全体	A	E
OKGT	富田	A・ミニシア	B・ミニシアタ	A・ミニシ	E・ミニシア	C・ミニシア

		ター	ー	アター	ター	ター
OKGT	大城千		A	B	入口	B
OKGT	前田	AB	A	入口	B	A
OKGT	佐々木		C	C	C	C
OKGT	友利	A	A	B		
OKGT	大城正		A	入口		
OKGT	神里				A	B
OKGT	比嘉				A	B
OKGT	千葉	A・入口・アンケート				
OKGT	久貝	AB (14-17)				
OKGT	長嶺					
OKGT	安次嶺	AB(14- )				
TTM	曾我部	A・B	A	木育会議	A	A
沖大	工藤先生	全体		全体	全体	全体
沖大	学生	全体		A	入口	入口
沖大	学生	全体	入口	A	A	A
沖大	学生	全体		B	B	A
沖大	学生	全体	入口	入口	入口	入口
沖大	学生	全体	入口	入口	入口	入口
沖大	学生	全体		入口	入口	入口
沖大	学生	全体		E	E	E
沖大	学生	全体		入口	E	A
沖大	学生	全体		C	B	A
沖大	学生			D 出口		D 出口
沖大	学生		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
沖大	学生		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
沖大	学生		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
沖大	学生		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
沖大	学生		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
学童		全体	入口	A	入口	入口
学童		全体	入口	A	入口	入口
学童	垣花		全体	木育会議	全体	全体
学童		C	C	C	C	C
学童		C	C	C	C	C

学童		C	D 出口	全体	C	C
学童			入口		C	C
子劇	玉城		F	F	F	F
子劇	斉藤		F	F	F	F
子劇			F	F	F	F
子劇	中里		C			
児	山城	C	C	A	C	C
児	長若	A・C	C	C	C	C
児	大人		C	C	C	C
児	大人		C	C		
ボラ	赤嶺		E	E	E	E
ボラ	垣花		E	E		
ボラ	大城 (典)		C	C	C	C
ボラ	田中				C	C
ボラ	与座				バルーン	バルーン
ボラ	山田		C	入口		
	Total	28	37	43	42	43

上記スタッフ配置表の様に予定しましたが、急きょイベントの両日を通して沖大生が「流しそうめん」を行うことになり、イベントボランティアの対応人員が大幅に減少するなど、実際の対応状況が異なりました。

OKGTメンバーを中心に、ボランティア活動経験者が多くかかわっていたため、知識と経験を生かして各コーナー毎に、臨機応変に問題に適応できていました。

Ex.)土足厳禁個所へ案内徹底のためのPOPの追加設置、混雑緩和のための入口導線の修正、細かなシフトの調整など。

関係団体の職員や一般ボランティアの方と、学生達が一緒にグループで活動する形態がとてもよかったですと感じます。学生にはおもちゃや遊びに関する事以外にも、立ち居振る舞いや状況対応の方法など色々な学びがあり、また、大人にとっても学生のパワーと若い柔軟な発想から新たに感じる事が色々あったようです。

## XV. 広報

### テレビ・ラジオ

NHK 放送局、ラジオ沖縄、琉球放送、FM 沖縄、FM うらそえ、FM レキオ

### 新聞・折込新聞紙

サンデータイムス、なはかわら版、しましまネット

那覇まちひとお出かけガイド、遊らんど情報、ホームプラザ、レキオ

琉球新報 論壇投稿、沖縄タイムス 論壇投稿

### インターネット

沖縄県 HP、掲示板 ぴらつか暦、沖縄子育て情報ういずメールマガジン

たいよのえくぼメールマガジン、沖縄子育てサポートすきっぷ メールマガジン

### その他

学童保育支援センターからの告知

### チラシ配布

小学校、保育園、幼稚園他

## XVI. イベントを振り返って

晴天に恵まれ、事故もなく「木育キャラバン in ユッカヌヒー」を開催できたことを心より嬉しく思います。初の試みである木育イベントが多くの方から支持され、予想を大きく上回る数の県民が来場されたことには、いくつかの要因がありました。

1点目には、入場料が無料だったことがあげられます。沖縄グッド・トイ委員会の継続活動「おもちゃの広場」を通して既に多くの親子が良いおもちゃで遊ぶ際の輝く笑顔に触れていました。沖縄の子供たちの健全育成や木育という新しい社会貢献の可能性を感じ、木育キャラバンを沖縄で開催することは沖縄グッド・トイ委員会メンバーの強い望みでしたので、当初は誘致の経費を有料開催で賄おうと企画していましたが、木育推進という方向性の一致から沖縄県共催による無料開催が実現しました。有料でも来場するコアな方楽しんでもらおうという当初の方針とは異なりましたが、無料開催により多くの県民に木育の一步を体感してもらえたことは、素晴らしい木育推進となりました。アンケートからも、木の魅力に触れた感激、木質感による子供の変化、親子で有意義な時間を共有できたことへの喜びの声などが寄せられ、沖縄の木育推進の大きな一步になったことが伺えます。

2点目には、開催地が那覇だったことがあげられます。沖縄の中心であり、居住者数の多い地域で開催できたことは、話題性、イベントのPR力からも、他地域での開催より、集客力がありました。情報発信に適した地で開催出来たことは、次回以降への足がかりともなりました。

3点目は、駐車場がありマイカーで来場することができたこと。沖縄県内イベントではマイカー利用者が圧倒的多数ですが、開催場所が大学であったため、授業との重複や在学生への影響から、他会場と比較して、駐車場の確保は難航しました。最終的には、沖縄大学の特別なご配慮と全面的なご協力により大きな駐車場を確保いただき、その結果、多くの親子連れが便利なマイカーで来場することができました。

このような要因を含み、足を運んでいただきやすい状況となったうえで、テレビ、ラジオ、新聞、チラシ、口コミなどで当イベントを幅広く周知することができ今回の集客と来場者の満足度につながったと思われます。アンケートには、実行委員会以下、関係団体ボランティア、学生ボランティア達の対応を評価する意見もあり、イベントの成功がパッケージだけでなく、関係者の思いと対応によって大きな満足感となったことが分かります。

反面アンケートでも実行委員会の懸念が予想通りに指摘され、少人数での実行委員会運営の手薄感はいなめませんでした。そのような状況下で大きなトラブルや事故なく終了することができた要因は、多くの時間をボランティア的に携わった関係団体の経験豊かなマンパワーに他なりません。ここまで大きな事業実績が確認された以上、同規模で次回開催するにあたっては全体規模の見直しが必要です。今回の成功を踏まえ、次回以降も満足度の高いイベントにするには、割愛せざるを得なかったサービスの提供、より増加するであろう来場者への対策等、早い段階からの実行委員会での取り組みが必要です。また共催の決定から開催までに時間がなかったことから計画が立て難く、多くの時間をボランティア的に携わる強行運営の体制を見直し、計画的に人員を確保することもイベントの質を維持するためには必要です。

また木育という言葉の認知度はまだまだ低く、訴求面では木育キャラバンのロゴに関して、木育自体なじみのない言葉なのに、読みにくい形の書体で分かりにくいとの指摘があったことと、ロゴマークに林野庁補助事業という文字が組み込まれているが、木育キャラバンの開催に関して、この表記が正しいのか？といった点に実行委員会内から指摘がありました。いずれも木育キャラバン規格のため、次回以降どの様な扱いになるかは未定です。

木育という行政の推進コンテンツも、木工従事者の事業としてはまだまだ未知数で、取り組みは個人の判断にゆだねられている状況です。より積極的に木育に木工業者が関わりたくなるような仕組みを作るためには、具体的な方向付けや取り組みに対する幅広い支援が必要と思われます。

子育て支援関係者の思いからスタートしたこのイベントが、3700名を上回る来場者数を記録し、沢山の親子の楽しそうな笑顔であふれたことで、関係者は大きな可能性を感じたことでしょう。初回の成功を受け、次回開催への期待が益々高まっています。この成功を無駄にしないためにも、各団体の垣根を越えた協力で今後の活動を組立ててゆきたいところです。

(木育キャラバン in ユッカヌヒー実行委員長 土屋よしこ)

## 沖縄 木育円卓会議 2011



「赤ちゃんから始める木育推進」の提唱のもと、木育の普及・啓蒙を進める「木育キャラバン」と同時開催の「木育円卓会議」を初めて沖縄の地で開催します。いまだ確立されていない「木育」のあり方を、専門家や現場の関係者を交えて、沖縄の土地の知恵や実践を浮き彫りにしつつ、大いに論議をすることによって、進むべき木育の道筋を明らかにしていくものです。

【日時】2011年7月30日(土)14:00～17:00

【場所】沖縄大学



### 【プログラム】

#### 第1部 <リレー講演> 14:00～15:20

挨拶	龍 徹 (林野庁木材利用課普及係長)
講演1 「木育の今までとこれからの展望」	山下 晃功氏(島根大学名誉教授)
講演2 「木育をどのように伝えるか」	田口 浩継氏(熊本大学准教授)
講演3 「沖縄で育つ子どものための木育支援」	加藤 彰彦氏(沖縄大学学長)
講演4 「赤ちゃんから始める生涯木育」	多田千尋(東京おもちゃ美術館館長)

#### 第2部 <テーマディスカッション> 15:30～17:00

【参加候補者】30～50名

沖縄県行政 木工業界 木育関連団体  
林野庁 木育につぼん21

沖縄県で木育を推進していくための足がかりとなるようなディスカッションを様々な専門家によって語り合います。沖縄県の木育の現状と、これからの展望を検討していきます。



\*\*\*\*\*

主催: 認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会

共催: 沖縄グッド・トイ委員会

協力: 沖縄大学 林野庁 東京おもちゃ美術館 高齢者アクティビティ開発センター  
芸術教育研究所

\*\*\*\*\*

## 【添付資料②】

## 木育円卓会議参加者名簿

		所属
1	今田 益敬	沖縄県森林緑地課
2	比嘉 順子	沖縄県森林緑地課
3	川満 恵	沖縄県南部林業事務所
4	上里 均	沖縄県森林組合連合会
5	大嶺 進一	国頭村森林組合
6	比嘉 進	国頭村森林組合
7	比嘉 薫	那覇市役所 こそだてみらい部 子育て応援課
8	佐藤 康司	handidraft 森の樹
9	永嶺 慶太	ゆいむん工房
10	古我知 毅	工房 地球のかけら
11	岩田 望	木の工房 楽樹
12	城間 光雄	木創舎
13	屋宜 政寛	工房 島変木
14	富田 ひとみ	沖縄県立芸術大学 デザイン専攻
15	大城 直也	沖縄県工芸技術センター
16	田場 盛信	沖縄県立工業高等学校
17	加藤 彰彦	沖縄大学
18	保志門 るり江	たいようのえくぼ
19	垣花 道朗	沖縄県学童保育支援センター
20	岸信 朋	沖縄県学童保育支援センター
21	渡真利 源吉	NPO 法人沖縄ソーシャルワーカー協会理事長
22	上里 直司	沖縄県議会議員
23	馬場 章悟	株式会社 琉球住楽
24	多和田 真克	社団法人沖縄県緑地推進委員会
25	龍 徹	林野庁木材利用課
26	山下 晃功	島根大学
27	田口 浩継	熊本大学
28	土屋 佳子	沖縄グッド・トイ委員会
29	多田 千尋	NPO 法人 日本グッド・トイ委員会
30	曾我部 晃	NPO 法人 日本グッド・トイ委員会
31	馬場 清	NPO 法人 日本グッド・トイ委員会

(合計 31 名。他傍聴者数名)